

電気、機械の新技术学ぶ

道設備設計事務所協会が発表会

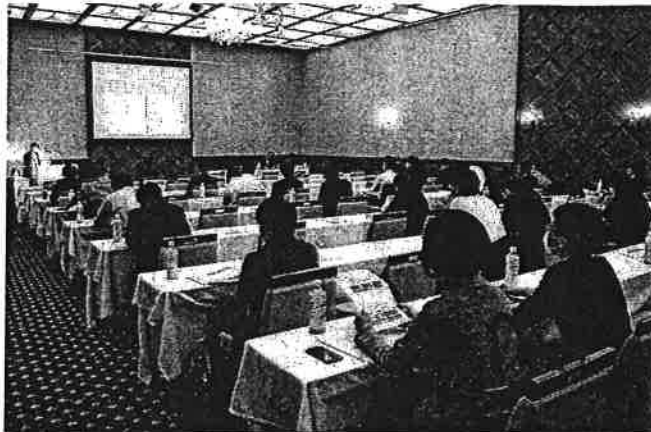
北海道設備設計事務所協会は、このほど、第9回技術情報発表会を札幌ビューホテル大通公園で開いた。電気と機械の2分野で、賛助会員14社が建築設備の新製品や新技術を紹介。約130人が参加し、知識を深めた。

電気分野では、遠藤照明が「明るさ感を取り入れた照明計画」をテーマに説明。輝度と照度を同

時に確認できるツールとして、ドイツの3次元照明シミュレーションソフト「DIALux」(ダイアルクス)などを紹介した。

このほか、アイホンと河村電器産業、サンコーシヤ、能美防災、パナソニック、矢崎総業北海道販売の6社が発表した。

機械分野では、川本製作所が「ポンプから見た省エネ」と題して発表。



同社のポンパーKFEシリーズを例に、インバーター自動給水ユニットの

IL、三菱電機住環境システムズの6社が発表した。

建築設備の最新技術と製品知識を深めた

省エネ効果などを説明した。

このほか、フネンアクロスとスパイラックスサーコリミテッド、積水化学北海道、三菱重工冷熱、LIX